

山積する課題に全力で取り組む

第66回定期地方大会開催

全機関が組織に集中を



国 労 せ ん だ い

No. 2613
2011年10月20日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

地方本部は第66回定期地方大会を10月2・3日の両日、秋保緑水亭において開催した。
大会では、JR不採用問題の総括はじめとして、労働条件改善、安全問題、組織強化拡大など諸課題について白熱した議論が行われ、運動方針など全議案を承認、決定した。

地方大会概況

大会二日目

大会は冒頭一分間の黙祷後、中島副委員長の司会で始まり、代議員定数31名中30名の出席を確認して大会の成立を確認。議長団には、議長に丸谷（宮城）、副議長には吉田（福島）両代議員を選出した。
地本を代表しあいさつに立った橋本委員長は、東日本大震災による被害報告と各地からの支援に対する感謝とお礼を述べた後、山積する諸課題の前進に向け、この24年間の闘いの教訓を活かし、強く歩み出す決意を本大



橋本委員長あいさつ

▼東日本大震災。多くの命と生活が奪われた。支社内では社員全員の無事が確認されたが、盛岡と水戸地本で各1人の組合員が死亡。仙台地本では6人の組合員が家族の命を奪われ、本人負傷2人、家族負傷1人、家屋全壊・半壊・床上浸水264件、床下浸水6件、一部損壊453

強く踏み出す決意を

だが福島原発事故による放射能汚染では、会社は国の基準を楯に組合員家族の不安を一蹴。取組みを強化する。
▼JR採用差別問題。JR各社の厚い壁に阻まれ断腸の思いで雇用を断念。全

労働委員会闘争を積み上げ、差別の排除と健全な労使関係の確立を求めてきた。そして東会社で06年11月、貨物では08年3月に一括和解が成立、公平・公正な人事運用が約束されたが、職場では和

組織強化・拡大

件、家財の被害158件の被災状況だが、全国各地から多くの支援物資と義援金が寄せられた。被災した組合員、他労組、避難所にも届けられ、国の団結が再確認された。
▼統一地方選挙
佐藤団長の引退はあつたが、議員団全員が当選した。政治の混乱にあっても諸税金引上げや憲法改正の動きは進んでいる。宮城・福島県議会議員選挙で推薦候補者の必勝を。24年間の闘いの教訓を活かし、強く歩み出す決意を本大会で固め合うことを訴える。

高野委員長あいさつ

来賓からは多くの方々よりあいさつを頂き、東日本本部を代表し高野委員長は、東日本大震災と反原発の問題に触れた後、①JR不採用問題について②組織強化・拡大の取組みについて③健全な労使関係と、安全輸送を確立する取り組み④三島貨物問題・人事賃金制度・グループ会社と一体となった業務体制の

大会二日目

議事に先立ち機関紙表彰が行われ、東北工事事務所分会の「ろばた」、郡工支部の「郡工情報」、郡工支部貨物分会の「分会通信」、仙総支部組立分会の「ガンバ組立」、仙総支部の「団結」、郡山駅連合分会の「分会情報」が議長より紹介され、優良表彰を受賞した。

その後、経過に関する質疑では、桜井代議員が発言、五十嵐書記長の答弁を経て、経過承認が行われた。引き続き、予算・運動方針に対する質疑が再開され、二日間で22名が積極的

来賓挨拶 (敬称略)

- ☆社会民主党 相沢 和紀
- ☆日本共産党 五島 平
- ☆宮城県平和労組会議 菅原 晃悦
- ☆宮城県交通労協 吉本 淳
- ☆東北労金宮城県本部 鈴木富士夫
- ☆全交共済生協 佐藤 勝雄
- ☆退職者の会仙台地連 亀山 健司
- ☆国労議員団 佐藤 幸夫
- ☆国労東日本本部 高野 苗実
- ☆国労東北協議会 瀬下 一司
- ☆国労音威子府闘争団 金児 順一
- ☆国労仙台闘争団 関野 政幸
- 高橋 敏夫
- 佐藤 正則
- 佐藤 昭一
- 上遠野 武
- 菅原 芳子

副委員長が行い、大沼新委員長の団結がんばろうで散会した。
（※代議員の発言等については別途機関紙で周知する）

地方大会での決定事項など

地方本部役員

執行委員長

大沼 元（新）宮 城

執行副委員長

中島利彦（再）宮 城
歌川 弘（新）福 島

書記長

五十嵐敬（再）福 島

執行委員

曾我浩之（新）宮 城
武田昌仙（再）山 形
佐藤 勝（再）宮 城
千葉 弘（新）宮 城
原子清貴（新）仙 台
宮 城 総

会計監査員

本田要一（再）郡 工
千葉祐悦（再）宮 城
新田順一（新）自 動 車

婦人部長

真砂久子（再）宮 城

特別執行委員

秋山 正浩 宮 城
小檜山広幸 福 島
原田好太郎 山 形
橋本 守弘 郡 工
佐藤 浩二 自 動 車
庄司 修 仙 台 総

地方委員

宮城県支部（9名）

大友 清孝（仙台駅連）
丸谷 豊美（仙台保線区）
斎藤 祐一（仙台建築区）
板橋 英一（仙台信通区）
結城 好哲（貨物宮城）
我妻 美津男（仙台電車区）
山田 芳夫（岩沼駅連）
佐藤 敬志（小牛田駅連）
青沼 寛明（小牛田運輸区）
福島県支部（4名）
吉田 浩一（若松地区）

メッセージ紹介

【敬称略】

前宮城県議 岸田 清実
秋田地本 瀬下 一司
高崎地本 横塚 正雄
千葉地本 小林 春彦
新潟地本 関川 和彦
水戸地本 大和田 享
近畿地本 園 秀樹
東京地本 鎌田 博一

小倉 正（郡山駅連）
小檜山聡（郡山保線）
佐々木勝紀（福島地区）

郡山工場支部（1名）

阿部 政雄（車体科）

仙台総合車両支部（3名）

渡辺 一則（台車）

桜井 一彦（組立）

高橋 進（車体）

東北自動車支部（1名）

兜森 秀昭（秋田県）

山形県支部（1名）

菅野 聡（米沢連合）

宮城・山形で交流深める 各地の行事 面白山で復興おもてなし会

10月15日、面白山高原において、仙台駅連合、仙石線駅連合、山形県支部合同による復興芋煮会が行われた。

主催者を代表し、仙台駅連合大友委員長は、「震災で皆さん苦労されたと思う。今日は大いに交流し、懇親を深めてもらいたい」と挨拶。

組合員・家族30人は「山形風いも煮」に舌鼓を打ちながら、久しぶりに会った仲間と、また初対面の仲間とお酒の力

退職のお知らせ

7月31日付

大橋 利明さん

郡工装置科分会

エルダー退職

金田 勝美さん

東北バス青森

エルダー退職

8月31日付

田中 定男さん

小牛田駅連合

TSS

大友 孝一さん

仙台病院 退職

長い間お疲れ様でした

ゴルフが出来ることに感謝 地本委員長杯

10月7日、松島チサンカントリークラブ（宮城県大郷町）に於いて、第12回地本委員長杯ゴルフ大会が42名の組合員の参加のもとで開催されました。

開会に先立って、参加者一同は、3・11大震災で被災された皆さんに黙



優勝した蛭川氏（右）と大村実行委員長

祷を捧げました。大会実行委員長の大村恒雄さん（仙台保線区分会）は、被災された皆さんにお悔やみとお見舞いを申し上げ、「ゴルフが出来ること感謝し、怪我なく今日一日楽しみましょう」と開会の挨拶を行いました。

青空の下でのプレーでしたが、折からの強風によるものなのか、いつものことなのか、ボールが真っ直ぐに飛ばない組合員や超攻撃的なグリーンの設定にてこずり、右に左に2往復している組合員も見受けられました。

一方で、厳しい環境の中でもプロ級の腕前は動じることなく、81打で回る組合員もおりました。お待ちかねの表彰式で

第十二回 皇居マラソン



日時 11月26日（土） 11時

場所 桜田門外「時計台」前集合

参加申し込みは地本まで！

台・仙石線分会の懇親会の始まりは『鍋を囲む会がルーツ』と歴史を紹介してくれた。

秋空の下、久しぶりに出会った組合員たちは、職場の話は勿論、趣味や家族、労働運動のことなど、大いに語り合い、盛会の内に終了。最後に山形連合佐藤委員長長の団結がんばろうで散開した。

なお、懇親が足りず、面白山高原から山形駅に向かった仙台方面の仲間も多数見受けられた。

は42位から順に発表され、最後に今年の栄冠を勝ち取った、米沢連合分会の蛭川浩さんが発表されると会場のムードは最高潮に達し、優勝者である蛭川さんは、照れながらも満面の笑みを浮かべ、優勝カップと豪華商品を受け取りました。

閉会では、第66回地方大会で新委員長に選出された大沼氏が、「闘争団の闘いは全国大会で終結が確認されました。これからの運動の柱は国労差別からの真の脱却と組織展望を掛けた組織拡大の闘いです。日常の労働条件改善の闘いはもちろん、その先頭で地方本部は奮闘します。」と閉会宣言が行われました。【元】

- ▼トップテン
- 1 蛭川 浩氏（福島地区）
 - 2 谷村俊則氏（仙台信通）
 - 3 小野孝一氏（仙台・宮運輸区）
 - 4 伊藤拓哉氏（仙台建築区）
 - 5 山崎 浩氏（仙台建築区）
 - 6 青野恒男氏（仙台・宮運輸区）
 - 7 落合 実氏（仙台駅連）
 - 8 木村 真裕氏（小牛田運輸区）
 - 9 松本雅裕氏（仙台建築区）
 - 10 白鳥勝則氏（仙台駅連）